

みどりの絆

緑崇流吟道緑水吟詠会会報
令和三年 四月

2021

NO.57

総本部会報編集局発行

緑崇流事務所

〒630-8135

奈良市大安寺西1-334-3

TEL/FAX.0742-35-6719

E-mail/m-net@mvf.biglobe.ne.jp

所感



宗家 箕輪 緑崇

春陽麗和の好季節となり、人の移動が活発になる新年度が始まりました。皆様におかれましてはコロナ禍にあってもますますご清祥のこととお喜び申し上げます。まさか令和の時代に世界中が危機的状況になるとは誰もが想像すらしておりません

した。長く苦難の日々が続き行事はすべて中止や簡略化され閉塞感漂う中でも皆様方には、会の活動に深いご理解と温かいご支援を賜り誠に厚く御礼申し上げます。

この先も長い道のりではありますが希望も見えてきましたし、昨今明るい兆しが遠からずやって来ると信じております。一年遅れの異例のスポーツの祭典に世界中が結集しコロナ禍の中での明るいニュースとして東京五輪に期待したいものです。

そして、今こそ文化が大きな役割を果たす時だと考えております。きつと今の時代を生きる私たちを後押ししてくれるはずです。我々の活動においても徐々に前進していこうとしている中、新しい暮らし方が求められるという状況下で自粛が自分磨きの時間と思えば少し気分が楽になりそうです。

また、いま一度詩吟と向き合っ瑞々しい名詩に新たな発見があるか

もしもありません。今後とも緑崇流吟道緑水吟詠会の発展に「吟は厳しく会は楽しく」をモットーに「限りなき前進」を持続できるよう努力していく所存です。

最後に皆様の大切なご家族、ご友人のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

令和三年四月吉日

(自宅書齋にて)



第四十五回 府連出場者決定兼競吟大会

日時 令和3年1月10日(日)
場所 高槻現代劇場

成績

〈一般〉

優勝	福永直人
準優勝	島田喜久子
準々優勝	辻孝彦
四位	徳岡知江子
五位	福本侑
上位入賞	辻悦子
上位入賞	垂水時子
上位入賞	神崎安雅
上位入賞	團幸子
上位入賞	西本朱里
入賞	松永幸代
入賞	阪井悟
入賞	吉村昌樹
入賞	安田厚子
入賞	田脇正枝
入賞	中塚宏輝

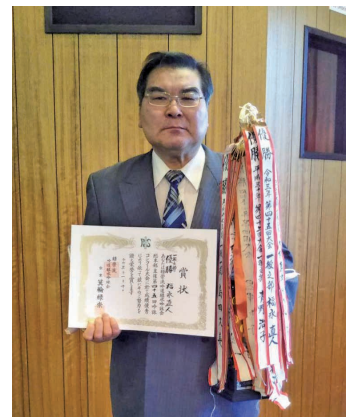
第45回 府連出場者決定兼競吟大会

高槻現代劇場 令和3年1月10日(日)



〈優勝〉

クローバー支部◇福永直人



この度、一般の部で優勝させて戴き有難うございました。

緑崇流の*歴代吟士権者の方々は、素晴らしい人ばかりで、その仲間入りが出来て、本当に嬉しい限りです。

まだまだ未熟者ですが、皆様にならぶよう研鑽を積んで行きたいと思えます。

長い間、見守りご指導戴いた渡辺緑翔先生、そして療養中の黒澤緑陽先生、有難うございました。

*歴代吟士とは：

一月大会一般の部で三年連続三位以内(その内一回優勝)入賞した者を指す。

第十一回

愛連吟詠フェスティバル

日時 令和3年3月7日(日)
場所 尼崎市総合文化センター
あましんアルカイックホール

治宮支部◇加藤恭子

一昨年、愛連の大会にて初めて決勝に残る事ができ、昨年の愛連フェスティバルに出吟させていただく予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催直前で中止となり、それから約一年間すべての吟詠コンクールが中止となりました。

そして今年、感染対策をしながらの開催となりましたが、約一年間コンクールもなければ大きな舞台で吟詠することも一切なかったため、このフェスティバルが久しぶりの大舞台です。この私が緊張しないわけがありません。ドキドキしながら舞台袖で待っていたところ、直前に一番の方のお休みがわかり二番の私はいきなりトップバッターに。緊張はマックスのまま舞台へ出るようになりました。声は震え、息？してない？など、始めから大変なことになりました。何とか持ち直して最後まで吟じることができましたが、私の愛連フェスティバルの初舞台は、ガチガチの吟で終わりました。

午後からの構成吟「詩歌で綴る日

本の歴史」では、当会から西岡緑優さんが第二部の「英雄達の盛衰」に出演され、御歴代随一といわれている大正天皇の御製詩から、朗詠「しばらくは、吟詠「歳朝皇子に示す」(さいちようおうじにしめす)を吟じられました。

愛連第二部の吟士権をとられていく方々の舞台は、とても素晴らしいものでした。私もまた、この舞台に出られるよう、そして次は堂々と吟じられるよう、引き続き頑張っていきたいと思えます。



(右上)加藤恭子さん(左上)西岡緑優さん
(下)構成吟ファイナー

